

2025年11月22日

入学試験問題

基礎学力テスト

【全学部・学科共通】

(試験時間 60 分、満点 100 点)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. この冊子は9ページあります。ページの脱落があった場合には申し出てください。
3. 解答用紙は計1枚で、解答は全問マーク方式です。マークシートのマーク手順については監督者の指示およびマークシートのマーク手順に従い、正確に記入・マークして下さい。
4. 「始め」の合図とともに、マークシートの注意事項を確認し、正確に記入・マークして下さい。
5. 「終わり」の合図とともに、筆記をやめ、監督者の指示に従ってください。
6. 解答記入はかならずHBの黒鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
万年筆やボールペン、サインペンなどを使用した場合、マークシートの読み取りができないことがあります。
7. 電卓、電卓機能を備えた時計の使用、持込は認めません。
8. 試験中の途中退室は認めません。

I 次の英文を読んで、下の間に記号で答えなさい。

By the time autumn 2024 rolled around, rumors of a significant “matcha ^(注1) shortage” began spreading globally. Since then, we have received numerous inquiries on (A) the subject. It's not unusual for matcha reserves to (イ) decrease during the colder months, and they're usually restocked with the new harvest. But this time, something felt different. At the same time, we were puzzled by the international buzz around a shortage, especially when high-quality matcha was still readily (ロ) available from various producers.

Now, as we find ourselves in the midst of winter, the situation is starting to (エ) clarify. While matcha reserves are indeed getting lower, (B) the spring harvest is just around the corner.

So, what exactly has happened? [1], no one has a (C) definite answer. However, it is clear that matcha has become much more popular in recent years. Whether it is because of the bright green color, the numerous health benefits it is known for (though many other teas share similar properties), or the influence of marketing and social media, matcha has become a trendy and visually (オ) appealing item in a wide range of recipes and lifestyles.

Over the past decade, exports of Japanese tea have grown rapidly—from just 1% of total production of tea in the early 2000s to around 10% by the end of 2023. Meanwhile, Japan has seen a big increase in tourism since 2022, with matcha [2] a popular and accessible souvenir in places like Kyoto. In many cases, tourists are even purchasing matcha (カ) in large amounts, as the prices in Japan are often much lower than what they would find in their home countries.

This increase in demand led two well-known Japanese tea brands, Ippodo and Marukyu Koyamaen, both with popular stores in Kyoto, to experience a serious matcha shortage, forcing them to either stop or regulate sales.

But is there really a total shortage of matcha? Not exactly. The unique and seasonal nature of matcha production makes it inherently limited. High-quality matcha can only be made [3] spring tea leaves. Moreover, not all Japanese tea produced in spring becomes matcha—in fact, matcha (キ) accounts for only about 6% of Japan's total tea production. This makes it naturally (ク) scarce. To add to that, matcha must be ground into powder, and the process takes time. Usually, tencha ^(注2) tea (the leaf material used for matcha) is ground gradually, not [4]. When demand for matcha suddenly went up, matcha producing facilities could not keep up, requiring more time than the market was willing to wait.

In response, the government is encouraging increased production of tencha and inviting tea farmers to focus more on it, rather than other types of tea. Financial support for this shift has already been announced, though the whole process will take time and (ケ) effort. Whether the matcha craze will last remains uncertain.

In the meantime, there's no need to worry: the spring harvest is just around the corner, and fresh matcha will soon be produced. However, we hope that tea drinkers come to appreciate the uniqueness and preciousness of this tea. Should we ride the wave of trendiness, drinking matcha (コ) at breakneck speed, or should we take our time to drink it slowly? As always, we do not have all the answers, so we have to (カ) leave the debate open. We note with some satisfaction that Japanese tea is gaining more and more attention [5] the global stage.

(出典 : Global Japanese Tea Association)

(注1) matcha 抹茶

(注2) tencha ^{てん}碾茶 (茶葉を揉まずに乾燥させ、茎や葉脈を取り除いたもの)

問1 1～5の空所に入る最も適切な語・語句を、それぞれ①～④のうちから一つずつ選びなさい。

- | | | | | |
|---|----------------|---------------|-------------|--------------------|
| 1 | ① The truth is | ② Furthermore | ③ Lastly | ④ At the same time |
| 2 | ① be | ② being | ③ been | ④ is |
| 3 | ① from | ② on | ③ into | ④ over |
| 4 | ① on sale | ② for sure | ③ naturally | ④ all at once |
| 5 | ① to | ② on | ③ under | ④ without |

問2 本文の内容から判断して、下線部(ア)～(サ)の意味として最も適切なものを、それぞれ①～④のうちから一つずつ選びなさい。

- | | | | | |
|----|-----------------|---------------|-----------------|----------|
| 6 | (ア) ① 量が増える | ② 量が減る | ③ 品質が上がる | ④ 品質が下がる |
| 7 | (イ) ① 製造できる | ② 高値で売れる | ③ 広く知られる | ④ 入手できる |
| 8 | (ウ) ① 大きくなる | ② きれいになる | ③ 明らかになる | ④ 無くなる |
| 9 | (エ) ① 細かな | ② はっきりした | ③ 単純な | ④ 理論的な |
| 10 | (オ) ① 魅力的な | ② 消極的な | ③ 普遍的な | ④ 挑戦的な |
| 11 | (カ) ① 大量に | ② 急速に | ③ 広範囲で | ④ 長時間 |
| 12 | (キ) ① 増える | ② 超過する | ③ 占める | ④ 増える |
| 13 | (ク) ① 恐ろしい | ② 巨大な | ③ 人気のある | ④ 不足している |
| 14 | (ケ) ① 製品 | ② 資料 | ③ 労力 | ④ 歴史 |
| 15 | (コ) ① 穏やかにゆっくりと | | ② ものすごい速さで | |
| | | ③ 多くの種類を一度に | ④ ドライブしながら | |
| 16 | (サ) ① 議論を今後も続ける | | ② 議論を新たに始める | |
| | | ③ 続いてきた議論をやめる | ④ 非公開だった議論を公開する | |

問3 下線部(A)と(B)の意味内容に近いものとして最も適切なものを、それぞれ①～④のうちから一つずつ選びなさい。

- | | | | |
|----|-----|--|--|
| 17 | (A) | ① the shortage of matcha | |
| | | ② the decrease in the number of matcha producers | |
| | | ③ the increase in the number of matcha-consuming countries | |
| | | ④ the decline in the quality of matcha | |
| 18 | (B) | ① the spring harvest will be later than usual this year | |
| | | ② the spring harvest is expected to be better than last year | |
| | | ③ the spring harvest is expected to be worse than last year | |
| | | ④ the spring harvest is coming soon | |

問4 本文の内容から判断して、下記の英文(1)~(4)を完成させるのに最も適当なものを、それぞれ①~④のうちから一つずつ選びなさい。

19 (1) The popularity of matcha has been _____.

- ① decreasing more in European countries than in Japan
- ② limited to tourists from overseas
- ③ increasing recently
- ④ damaging the tea industry in Japan

20 (2) Many tourists from overseas buy matcha in Japan because _____.

- ① it is not available in Western countries
- ② it is much cheaper in Japan than in their home countries
- ③ every Japanese person they meet recommends buying it
- ④ it is not heavy even if they buy a lot

21 (3) The Japanese government _____.

- ① has been limiting total tea production, which has led to the matcha shortage
- ② is planning to raise the price of matcha for tourists from overseas
- ③ is asking other countries to produce tencha
- ④ wants tea farmers to increase the production of tencha

22 (4) The best title for this passage is “_____.”

- ① Finding Ways to Keep Matcha Fresh
- ② The Secret of the Global Matcha Trend: Beauty and Health
- ③ The Matcha Shortage: An Insightful Look
- ④ The Benefits of Matcha: From a Historical Perspective

II 次の間に記号で答えなさい。

問1 カタカナ部分が下線部の漢字の読みとして正しいものをそれぞれ一つ選びなさい。

23 (1) ①拙劣 セツ ②喧伝 セン ③墮落 ツイ ④毀損 ヘイ

24 (2) ①含羞 チ ②更迭 シツ ③綻ぶ ホコロ ④蔑ろ ムシ

問2 下線部の漢字表記が正しいものを一つ選びなさい。

- 25 ①彼の出身校は、多くの優秀な人材を排出してきた名門校である。
②ビジネスで活躍してきたが、国家資格を得ることでさらに経歴に拍がついた。
③彼は何度も慰留されたが、会社を辞め、新しい道に進む決心がついていた。
④助けを求められたのに断ってしまったことが、ずっと追い目になっている。

問3 次の四字熟語のうち、漢字表記が正しいものを一つ選びなさい。

- 26 ①氣宇壮大 ②輕挙豪動 ③古色騷然 ④不変不党

問4 「現実とかけ離れた、実際の役に立たないこと」という意味の四字熟語として最も適切なものを一つ選びなさい。

- 27 ①空前絶後 ②空理空論 ③色即是空 ④徒手空拳

問5 「遠慮が先に立つこと」を表す表現として最も適切なものを一つ選びなさい。

- 28 ①気が大きくなる ②気が咎める ③気が抜ける ④気が引ける

問6 次の言い回しの [] に入る最も適切なものをそれぞれ一つ選びなさい。

- 29 (1) 待てば海路の [] あり ①便り ②日和 ③巡り ④離れ

- 30 (2) [] 千里を走る ①愛慕 ②秋風 ③悪事 ④駿馬

問7 次の文において [] に入る言葉として最も適切なものを一つ選びなさい。

3歳の孫がかわいらしく挨拶の様子を見て、思わず相好を []。

- 31 ①上げた ②与えた ③崩した ④持った

問8 次の語と意味の類似した語（類義語）として最も適切なものを一つ選びなさい。

- 32 (1) 殊勝 ①景勝 ②殊更^{ことさら} ③精鋭 ④立派

- 33 (2) 懸隔 ①遠路 ②乖離 ③革新 ④懸案

問9 次の文のうち、文法や表現の誤りが含まれていないものを一つ選びなさい。

- 34 ①墓地を訪れると、一人の牧師が死者の魂を諫めるために祈りをささげていた。
②妻も働いているのであれば、収入に違わず、お互いに家事を分担したほうがよい。
③この表に記載の時刻については細心の注意を払って、正確を期しているつもりだ。
④他国企業の経営のつまずきを他山の石とせず、企業努力を続けていく所存である。

III 次の文章と資料を読み、間に記号で答えなさい。

メディア総接触時間はコロナ禍で大きく伸長してデジタルシフトが加速したが、サービスの利用やデバイスの所有にも変化が見られる。

まず、2024年のテレビのインターネット接続は23年から（ a ）増加して63.5%と大幅に伸長した。テレビスクリーンで動画視聴するストリーミングデバイスの所有もコロナ禍で急速に伸びたものの1つであるが、23年から2.4ポイント伸びて（ b ）（36.1%）。

このように、テレビスクリーンのインターネット化は加速し、様々な配信サービスの利用が伸長している。定額制動画配信サービスの利用は大きく伸びて24年は64.5%と、初めて6割を超えた。コロナ禍で利用が増えたTVerは、22年に初めて3割を超えたが、24年はさらに大きく14.3ポイント伸びて53.8%と、初めて過半数となった。2016年からの8年間で、定額制動画配信サービスは約7倍、TVerは14倍以上と急伸している。ABEMA（2017年から調査開始）は、24年は39.2%と4割に近づいた。現在テレビスクリーンのネット化は加速しており、もはやテレビ受像機は（ c ）の1つになったと言っても過言ではないだろう。パソコン、タブレット端末、スマホ、そしてテレビと、インターネットデバイスは増加し、メディア環境はより多接点になった。そしてその多接点で無料動画配信、有料動画配信、テレビ番組の配信...と多種多様なコンテンツが楽しめるようになったのだ。

では、ますますネットと接続されたテレビスクリーンではどのようにサービス、コンテンツが楽しまれているのだろうか。「メディア定点調査」では、マスメディアの接触時間を聞いた後で、その時間に具体的に何を入れたのかを20年から調査している。テレビを見る時間として何を入れたのか時系列で確認しよう。

20年から伸長傾向にあるのは有料動画視聴（31.0%、20年から17.6ポイント増）と無料動画視聴（32.8%、同13.8ポイント増）で、近年動画視聴がテレビ視聴と捉えられるようになった。この1年で最も伸びたのは、見逃し視聴サービスによるテレビ番組視聴（33.5%、23年から7.3ポイント増）だ。見逃し視聴サービスによるテレビ番組視聴は、有料動画視聴、無料動画視聴と同程度のスコアとなった。テレビ視聴における見逃し視聴サービスの存在感が増したが、録画したテレビ番組視聴は63.5%と、23年から0.9ポイント減少した。テレビがネットと接続されたことで、（ d ）、生活者にとってのテレビ視聴は大きく変化している。

（出典：日経広告研究所編『広告白書2024-2025版』 一部改変）

問1 空欄（ a ）に入る語句として最も適切なものを一つ選びなさい。

- 35 ①2.4ポイント ②8.6ポイント ③27.2% ④32.5%

問2 空欄（ b ）に入る語句として最も適切なものを一つ選びなさい。

- 36 ①安定している ②4割に近づいた ③半数を割り込んだ ④コロナ禍の影響を脱した

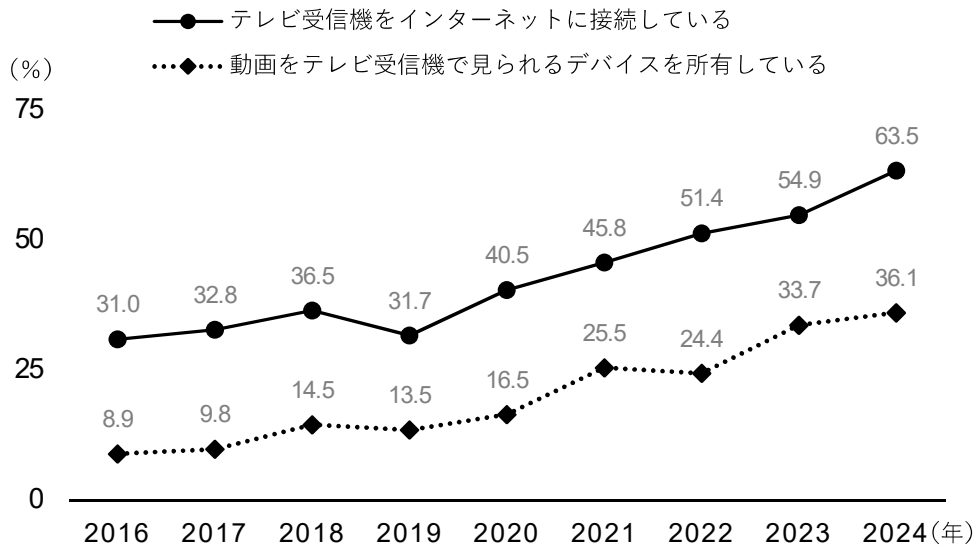
問3 空欄（ c ）に入る語句として最も適切なものを一つ選びなさい。

- 37 ①配信サービス ②マスメディア ③有料動画スクリーン ④インターネットデバイス

問4 空欄（ d ）に入る表現として最も適切なものを一つ選びなさい。

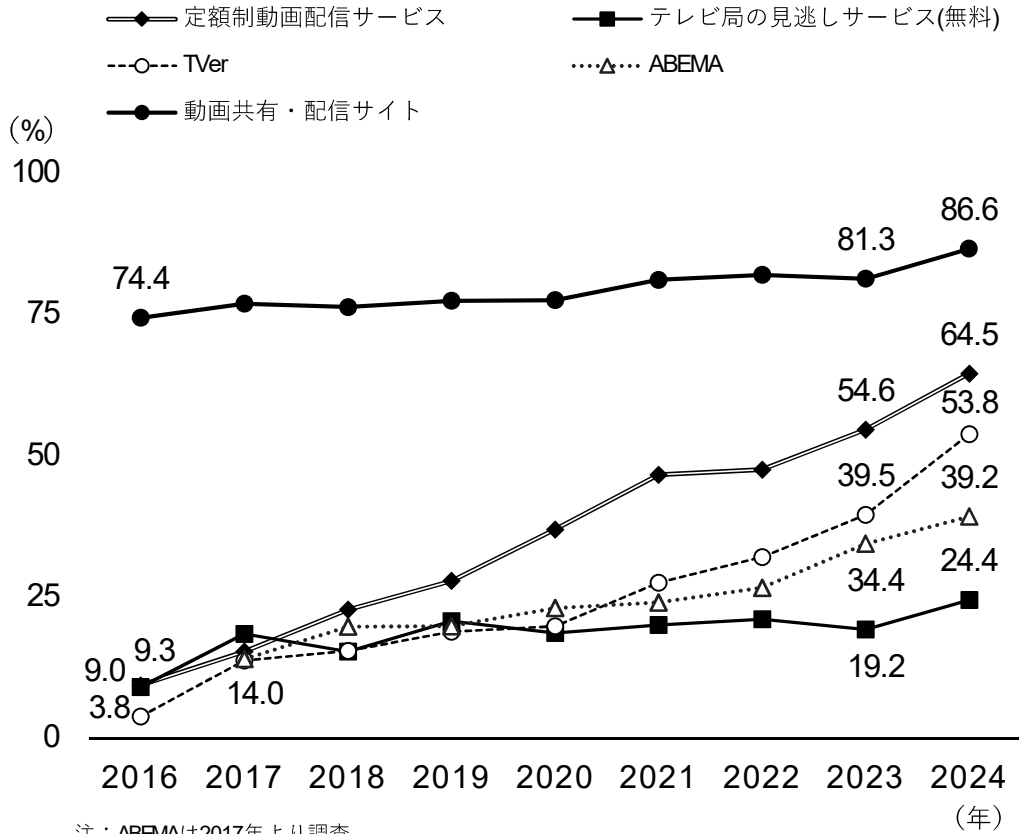
- 38 ①動画やテレビ番組のコンテンツを配信サービスで見るという視聴行動が「テレビを見る」時間として捉えられるようになり
②見逃し視聴サービスが主流となり、録画したテレビ番組視聴が低迷した結果、全体的なテレビ番組視聴が低下するなど
③「テレビを見る」時間を減らす場面が多くなり、パソコン、タブレット端末、スマホといったテレビ以外のデバイスの利用が伸長し
④有料動画・無料動画といった動画もテレビ番組として放映されることで、インターネットとテレビの境界が曖昧になり

図表1 テレビスクリーンのインターネット接続率の
時系列推移



出所：博報堂DYメディアパートナーズメディア環境研究所「メディア定点調査」

図表2 配信サービスの利用率の時系列推移



注：ABEMAは2017年より調査

出所：博報堂DYメディアパートナーズメディア環境研究所「メディア定点調査」

図表3 「テレビ」を見る時間として入れたもの

(%)

利用内容	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
テレビ番組をリアルタイムで見る	84.3	87.6	85.3	81.3	79.1
録画したテレビ番組を見る	7.3	72.5	71.5	64.4	63.5
見逃し視聴サービスでテレビ番組を見る ^{注1}	11.3	15.3	17.7	26.2	33.5
有料動画を見る ^{注2}	13.4	21.8	22.1	24.1	31
無料動画を見る ^{注3}	19	22.6	27	26.9	32.8
インターネットテレビを見る ^{注4}	5	4.7	6.7	7.3	9
SNSにあがっているテレビ番組を見る ^{注5}	4.4	5.4	4.9	4.4	6.5
その他を見る	2.9	1.6	1.8	2.9	1.1

注1: TVer、日テレ無料! (TADA)、TBS FREE、ネットもテレ東、FOD見逃し無料、NHKオンデマンド、
 テレ朝動画、テレビ東京オンデマンド、フジテレビオンデマンドなど

注2: Netflix, Hulu, Amazonプライム・ビデオ、Lemino (旧dTV)、DAZNなど

注3: YouTube、ニコニコ動画、Dailymotion、FC2動画など

注4: ABEMAなど

注5: Facebook、X (旧Twitter)、LINE、Instagram、TikTokなど

出所: 博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所 「メディア定点調査」

(問題は次ページに続く)

IV 次の文章を読み、問に記号で答えなさい。

ある事件が起こったとき、当時の人がその事件のすべてを理解することは不可能だ。

第二次世界大戦が始まったとき、当時の日本の人々、そして世界の人々は、状況のすべてを知ることはできなかった。大戦が後に核爆弾による最後を迎え、冷戦を生み出すとは思ってもよらなかっただろうし、それが未来の日本のあり方にもたらす意味を理解することもできなかっただろう。「ひとつの出来事についての真実全体は、あとになってから、時にはその出来事が起こってからずっとあとにしかわからないし、……最良の証人すらも知りえないような事柄である」と歴史哲学者のアーサー・ダントーは言う。

だが、後に生きる人々、たとえば歴史家は、当時の人が使うことのできなかったデータや理論や道具を用いて、当時の人々が知り得なかった事実を探っていくことができる。それゆえ実は、第二次世界大戦の特定の側面については、当時の人々よりも未来に生きる私たちのほうが、よく「理解」できているということがある。

歴史的語りとは、当時の出来事を新しい仕方の説明することができる不思議な営みであり、意義深い説明の様式なのである。

確かに「当時の人が理解した当時の出来事の意味」を探ることも歴史的(a)叙述の役割だろう。当時の人々が大戦をどう評価したか。日本に住む人々が開戦をどう受け止めたか。

だが、歴史的叙述は、そうした過去の復元に加えて、過去がどのような意味を持っていたのかをより広い視野で解釈し、現在において過去がどのような意味を持つのかを再解釈する営みでもあるのだ。

そして何より、私たちは過去を「理解」するとき、思い出すのではなく、それを語り直す。過去をそのまま思い出すことはできない。なぜなら、過去とは本質的に、現在の私たちの語りによって更新されていくものだからである。

私たちは、語り直しによってのみ過去を理解できる。いや、語り直さざるを得ない。なぜなら、私たちは当時よりもいっそうさまざまなことを知っており、新しい概念や枠組みのもとで過去を語らざるを得ないからだ。

過去を過去の人々や私たちが体験したままに、あたかも記録映像のように思い出すことはできない。なぜなら、現在の私たちは、過去とは決定的に異なったデータ、考え方、言葉をすでに持っているからだ。

現在「Y2K」がファッションスタイルとして流行している。2000年頃に流行したファッションやカルチャーのリバイバルとも言われているが、それは当時のカルチャーそのままの再現ではない。当時起こったさまざまなカルチャーの一部を取り出して、リミックスしている。「Y2K」に触れて、私たちはついつい「2000年代ってこうだったよね」と「思い出して」しまう。けれど、それは「思い出し」ではなく、語り直しなのだ。

「思い出している」と感じているときでさえ、私たちは実は「今の自分」という、過去とは別の地点から「語り直して」いる。過去は、現在という新しい視点から叙述しなければ、それを扱うことができないのだ。私たちは、過去そのものに語らせることはできない。過去は常に新たな解釈に開かれている。

過去そのものに語らせようとしても、私たちの耳はもうすでに新しくなっている。(b)、過去は常に私たちの解釈を経て、耳を新たにした私たちが聴くことのできる声として、聴こえてくるのだ。

だが、過去は「何でもあり」な仕方、好きなように解釈できるわけではない。証拠として用いられる、モノや人々の語り(c)セイヤクとなり、語れる過去の叙述が変化する。

私たちはより適切な語りを探し求めることができるし、もし人々と共に生きることを目指すのならば、(d)そうしななければならない。それは証拠と自分の歴史的語りのギャップを測ることであり、周囲の人々の語りとの齟齬について訂正を行っていくことでもある。

過去は私たちがやってきたところであり、私たちが今立って日々営んでいる共通の大地である。いわば、時間的な(e)なのだ。「私たち」がどのような「私たち」なのかは、常に歴史的過去に基づいて語り合うことになる。

あなたが現在、親密な誰かと共に暮らしているとする。あなたたちはさまざまな経験を経てきたはずだ。そして、いつか難しい選択に迫られたとき、まさしくそうした過去の経験の数々が、あなたたちを支えるだろう。しかし、

過去が支えとなるためには、あなたたちのあいだで共通の過去が共有されていなければならない。

こうした共同的な作業を、実は私たちは、それほど意識せずに行っている。互いの話を聞き、歴史を語り合っている。しかし、意識することで、より適切な過去の叙述が可能になる。これは歴史の哲学から私たちが学べることだ。

(難波優輝『物語化批判の哲学 (わたしの人生) を遊びなおすために』一部改変)

問1 下線部(a)の読み方として適切なものを一つ選びなさい。

- 39 ①きじゅつ ②さじゅつ ③じょじゅつ ④よじゅつ

問2 空欄 (b) に入る語として最も適切なものを一つ選びなさい。

- 40 ①けれども ②それゆえ ③加えて ④まるで

問3 下線部(c)の漢字表記として適切なものを一つ選びなさい。

- 41 ①成約 ②制約 ③誓約 ④製菓

問4 下線部(d)に「そうしなければならない」とあるが、「そう」が指すこととして最も適切なものを以下の中から一つ選びなさい。

- 42 ①現在という新しい視点から過去を扱うこと
②過去を好きなように解釈すること
③過去についてのより適切な語りを探し求めること
④人々と共に生きることを目指すこと

問5 空欄 (e) に入る語として最も適切なものを一つ選びなさい。

- 43 ①公共物 ②尺度 ③哲学 ④記録

問6 本文中における過去の「語り直し」とはどのようなことか。それを説明した内容として最も適切なものを以下の中から一つ選びなさい。

- 44 ①現在の私たちの視点から改めて過去を見て、当時の勘違いを修正すること
②その後生まれしてきた情報や概念などをもとに、過去の出来事を捉えること
③過去の複数の出来事の一部を取り出し混ぜることで、新たな概念を作ること
④周囲の人と記憶の違いをすり合わせ、誰もが納得できる過去を再現すること

問7 本文の内容として最も適切なものを以下の中から一つ選びなさい。

- 45 ①私たちの歴史や過去についての認識は、過去の出来事の語り直しであるとともに、現在の私たちの存在の土台となるため、共通のより良い過去の語りを作り上げることが必要である。
②私たちはすれ違ってきた過去について周囲の人々と本音で語り合うことで、難しい選択肢を前にしたときに、迷わず最も適切な選択肢を選ぶことが可能となる。
③現在の技術によって、過去は当時の過去とは異なった形で再現することが可能となり、記録映像の内容も更新されていくのが必然である。
④ファッションスタイルとしての「Y2K」は当時そのままのカルチャーの再現ではなく、現在のカルチャーをもとにアレンジを加えられたものである。